

寒川総合図書館の子ども読書推進事業実績

1. 寒川町の子どもの読書習慣が定着を目指す町計画の目標指標

① 寒川総合計画 2040 第1次計画(令和3～6年度)

【施策名】社会教育の振興

【施策目標】町民が地域で学び、その成果がひとづくり、つながりづくり、まちづくりにいかされている。

【具体的な取組_事務事業】総合図書館運営事業

施策の目標指標	基準値		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
人口1人あたりの貸出点数	4.0点 (令和元年度実績)	目標値	4.4点	4.6点	4.8点	5.0点
		実績値	4.1点	3.7点	3.7点	

【推進における課題と今後の方向性・令和5年度総括】

- 図書館の利用登録者数、来館者数、貸出点数は減少し続けており、コロナ禍以降は読書離れが全国的に加速しているが寒川町においてもその状況がうかがえる。子どもの健やかな成長のために、想像力を育み、知識、語彙を増やすことができる読書は必要不可欠であり、子どもの読書活動推進はとくに重要である。学校と連携した読書推進活動も検討するほか、子どもたちが自発的に図書館に通うためには、まず保護者と一緒に来館し、図書館に慣れ親しむプロセスが必要であることから、イベントや本の紹介など親子で図書館に足を運ぶ機会を増やす取り組みを充実させる。

② 第2次寒川町教育振興基本計画 前期実施計画(令和3～6年度)

【基本目標】《社会教育》町民が地域で学び、その成果がひとづくり、つながりづくり、まちづくりに生かされている

【主な施策】図書館活動の充実

【事業名】総合図書館運営事業

【事業目標】・図書館が学びを支える情報拠点となり、地域での学習活動が充実し、町民の幸せと誇りを創出している。

・幼児期からの読書習慣が定着することで、心豊かな成長や自己実現を促している。

事業の目標指標	基準値		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
図書館利用登録者数	21,647人 (令和元年度実績)	目標値	22,000人	22,400人	22,800人	23,000人
		実績値	19,663人	18,510人	17,881人	
子ども対象の利用促進事業の参加者数	2,107人 (令和元年度実績)	目標値	2,150人	2,200人	2,250人	2,300人
		実績値	616人	3,903人	4,973人	

【令和5年度総括】

- 令和5年度も登録削除者と比べ新規登録者が少なく、年々登録者が減少している。とくに0歳～11歳の登録者が減っており、さらなる新規登録者の獲得を目指すとともに、この年代の登録削除者が多くいることから図書館に足を運び、貸出や読書習慣定着につながる取組が必要である。
- 子ども対象事業の参加は増えており、ハロウィンや図書館まつりなど、イベント単体としては成果が出ているが、そこから新規利用登録や本の貸出や読書活動の定着につながる流れができていないことは課題である。